

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
Kasagi@eolas-net.ne.jp



「かおる通信」も、おかげさまで12回目の発行となりました。
春夏秋冬をサイクルにして発行するよう心がけています。
引き続き、ご愛顧いただければ幸いです。

笠木かおる夏の夕べ

温かい励まし、ありがとうございました。

笠木かおる連合後援会（荻野慶博会長）の主催で8月25日、旭正農協豊岡支所で「笠木かおるさんを囲む夏の夕べ」を開催していただきました。

平素のご無沙汰にもかかわらず、本当に多くの皆さまに足を運んでいただき、心からお礼申し上げます。

これからも、一日一日を大切に生きて住み良いまちづくりに邁進していく所存です。皆さまのご指導を心からお願い申し上げます。



元衆議院副議長の安井吉典先生は大正4年生まれですから今年85歳。

私の行事にも、必ずといっていいほど出席してくださり、先の夏の夕べでも身に余る激励をいただきました。

いつも凛々しく輝いていらっしゃいます。



有珠山噴火被災地を視察しました



有珠山噴火から半年がすぎましたが8月17日、有珠山麓の現地を視察しました。

洞爺湖温泉街は今もなお観光客が通常の3分の1程度に留まっています。また、一部住民の避難の長期化や農業被害も深刻でした。

復興作業は時間がかかりますが、「負けるな、がんばれ」とみんなで西胆振地区を応援したいものです。

「精神障害福祉」を考えました

9月30日、旭川圭泉会病院（東旭川町下兵村）の「来て見ん祭」に顔をだしました。

直江寿一郎院長は講演で、人口の「1割がうつ病」を、「3割がうつ状態」を経験していると推計し、「病気ではなく、変化の激しい社会に適応できないだけ」とのお話は印象的でした。



12年度、地域道政懇話会終わる

平成12年度地域道政懇話会が9月1日、トーヨーホテルで開かれ、道に対する旭川市の要望について懇談しました。

要望項目は①北彩都あさひかわ整備事業の促進②幹線道路網の整備促進など7項目。

特に、「鷹栖北インターチェンジ～東旭川～旭川空港～富良野～十勝」までの道路整備に、微力ですが頑張っています。

開拓者精神を受け継いで



千代田、共栄、愛宕および豊岡、東光地区は開拓時代から「下公有地」とよばれてきました。

9月5日、第3小学校（共栄）横にたつ開拓碑前で、先人たちの困難辛苦を労う催しがありました。

私も玉串を奉奠させていただき、下公有地開拓の歴史にこうべを垂れました。

町内会の20周年を祝う

豊岡東部中央町内会（杉下政秀会長）に住まいして1年半。9月17日、当町内会の20周年祝賀会がありました。

東旭川上兵村で生まれ育った私ですが生家からも近く、本当に良い所に住まわせて頂いたと思います。

この日は、お祝いの餅つきを楽しみました。



母校の学芸会を鑑賞しました



10月1日、母校の旭川小学校の学芸発表会にご案内をうけ、子供たちの舞台を観覧しました。

精一杯の表現、立派な芸に、大きな拍手が贈られていました。

ええ～？ナスビとトマトが一体化

先日、東旭川町共栄の三田良孝さん宅におじゃました所、1本の野菜からナスビとトマトが育っているのを発見しました。三田さんが何年かかかって成功させたそうです。

これにはびっくりしました。



夏のコマです。馬淵トヨ市民委員会婦人部長さんらと。

第3回定例会を報告します

旭川市議会の第3回定例会は9月13日から10月5日までの23日間の会期で開かれました。

今議会は、平成11年度決算の認定と2,911,862千円の補正予算を審議するものでした。

以下、決算特別委員会で取り上げた私の質問内容(要旨)を報告します。

環境部

ゴミの最終処分場

(笠木) 現在の江丹別中園の廃棄物最終処分場の使用可能期間はいつまでか。

(答弁) 平成15年度末まで。

(笠木) 江丹別芳野に計画する次期最終処分場建設計画の日程はどうなるか。

(答弁) 実施設計を住民に説明後、届け出許可を受け、年内にも建設に着手したい。平成15年4月から使用開始の予定。

(笠木) 一時的にも計画の凍結があった場合、旭川市のゴミ行政は成り立つか。

(答弁) 住民の理解を得て、予定どおり建設をすすめたい。

(笠木) 「住民合意」の認識は。

(答弁) 今後も引き続き、誠意をもって対応していく。

【解説】

現在のゴミの最終処分場の残容期間は、残り約3年間です。その間に新しい処分場を建設しなければ、生活から排出されるゴミの行き場所がなくなります。

いま、家庭系のゴミは5分別され、最終処分場では燃えないゴミのみが処分されていますが、事業系(企業など事業所から出るゴミ)は、分別が遅れていて生ゴミなどがそのまま埋め立てられています。特に生ゴミは、異臭、水の汚染、カラスの増大、風評被害などの大きな原因です。

燃えるゴミや生ゴミの資源化や堆肥化をすすめ、産業廃棄物を別処理すれば、現在25万トンも埋められている廃棄物を5万トン近くまで減らすことが可能です。

私は、「新処分場には生ゴミや紙を入れないとの基本計画を持つことこそ、住民に対する誠意だと思う」と主張しています。ゴミ問題は市民全体の課題です。

生活交流部

環状線バス運行

(笠木) 環状線バス運行の実証実験を行なったが、運行の可能性をどう受けとめているか。

(答弁) バス事業者と話をすすめているが、具体的な方向性を示すに至っていない。

(笠木) 実現のために、バス事業者、利用者、地方自治体で「協議会」をつくることはできないか。

(答弁) そうしたことも考えていきたい。

【解説】

昨年11月、旭川市は環状1号線のバス試験運行を実施しました。

1便あたり平均17人の利用があり、市民の期待感が高いものがあります。

しかし、採算性の問題などから、まだ実現に至りません。

運行頻度や料金設定などは勿論ですが、他路線を含めバス網全体の検討をするなかで、「環状線バス」の運行は可能です。

生活交通の確保のため、旭川市の積極性が求められます。

保健福祉部

介護保険

(笠木) 低所得者層の介護保険料の軽減制度を導入すべきでないか。

(答弁) 保険料は給付の財源であり、一定の負担をお願いしたい。

(笠木) 生活保護世帯は保険料が免除され、生活保護基準額以下でも保護を受けず自立して生活している世帯は保険料が賦課されるという矛盾もでてきているが。

(答弁) 全国市長会を通じて低所得者層への改善を求めていきたい。

(笠木) 6カ月ごとに認定の更新をしなければならないが、延長できないか。

(答弁) 状況によって認定期間を12カ月にできることを認定審査会に伝えていきたい。

【解説】

本年10月から65才以上の第1号被保険者の保険料徴収(1年間は半額)が始まりました。

低所得者層の保険料と利用料の軽減措置が課題となっています。

また、認定期間が6カ月でその都度、認定審査をはじめからやり直すため、期間延長の声が多く寄せられています。

保健福祉部

高齢者タクシー料金助成

(笠木) 高齢者バス料金助成制度(ワンコイン制度)が定着しているが、タクシー料金助成制度を設け、高齢者の選択によりどちらかを利用できるようにできないか

(答弁) バス事業者の理解などの課題があるが、検討したい。

【解説】

現在、70才以上の方は、どのバス路線でも100円で乗車できます。

しかし、バスが走っていないところに住んでいる方は利用できないなどの問題もあります。

バス料金助成制度は年間1人あたり約8千円の税金が使われていて、バスを利用できない高齢者にその分、タクシー利用券を交付できないかと提言しています。

ひとりごと



紅葉の秋。旭川の木、ナナカマドが、今年はいっそう赤燈を灯しています。

10月11日~12日、旭川市議会議員会の研修会ではじめて知床に足を踏み入れました。車窓からの景色は見事なもので、白樺やダテカンバ、楓の黄色に自然の奥深さを感じました。

9月12日、北海道療育園で、日本を代表する彫刻家・佐藤忠良先生『写真』にお会いすることができました。買物公園の「若い女」や優優良織工芸館前庭の「冬の像」など、香り高い文化空間をかもし出す彫刻。「彫刻のまち・あさひかわ」を、より充実させたいと思いを馳せたひと時でした。

高橋尚子選手のすがすがしい表情に新時代の女性像を感じ、韓国と北朝鮮の合同行進に21世紀の統一を予感したシドニーオリンピック。朝日新聞は「国籍とは、人々を隔てる壁ではなく、互いの歴史や文化を認める目印程度になっていくのではないかと」報じていました。

向寒の折、どうぞ皆さま、ご自愛くださいませ。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。